

スロウ SLOW
りょう 亮 さん
たけつぐ 武次
代表

皆さんのリクエストに柔軟に応えます！

今回のがんばってますは、「クライアントのリクエストにじっくり時間をかけて取り組むこと」をモットーに、広告業やデザイン代理、編集業などを手がける、SLOWの代表・武次亮さんをご紹介します。



出版

版・広告業界へ進み、独立へ
高校まで長崎で過ごした武次さん。福岡の大学を卒業後は、アパレル業界に2年間勤務。その後、結婚を機に長崎に帰郷した。

「地元に戻ってきたので別の仕事にチャレンジしようと思いました。昔から雑誌が好きで福岡の広告代理店で働く仲の良い友人のススメもあり、縁あって出版業界で広告の営業職として仕事を始めたんです」と当時を振り返る。

最初の頃は、上司に付いてノウハウを学び、既存顧客のフォローや新規営業などに奮闘した武次さん。自分の知らなかった職種や減りに話す機会のない経営者と関わる機会が増え、開拓営業の楽しさや、新鮮さを感じたという。

「クライアントの悩みなどを聞いているうちに、本当に必要なことはクライアントのやりたいことを具現化し、その手助け

をする」ことではないかと考えるようになったんです」と武次さん。
「より深く寄り添い、これまでに役に立ちたい！」と強く感じたことから、これまでの経験も生かし、広告業として2016年に独立開業した。

フリーペーパー「Hajikko」と「SLOW」の理念

「まずは、自分が何をやりたいかを明確に示すために、前職の経験も生かしつつ、フリーペーパー「Hajikko」の作成から始めました」と武次さん。開業して間もなく第1号を発行させた同誌は、日本のはじっこである長崎市の南部地区にスポットを当て、グルメやサロン、観光地など、ローカルなネタを紹介。「地域の皆さんに住まいのエリアの事を知るきっかけになれば」という思いも込め発行している。

また、社名の「SLOW」には、武次さんの仕事を通しての想いがある。一人ひとりのオーダーに対し、しっかりと応えていき、柔軟に取り組みたいという姿勢が武次さんの仕事の流儀となっている。
「前職では、先輩方から営業のことはもちろん、企画の考え方やクリエイティブの大切さなど様々なことを学びました。当時は、営業という立場からクライアントと密な時間を過ごす中で、様々な仕事を経験させていただきました。その全てが今に至っています」と振り返る。

現在は3か月に1冊、テーマを決めて発行している「Hajikko」は、南部地区のスーパーや美容室、飲食店など60か所、市内の商業施設など10か所に設置し、約5,000部配布している。同誌の発行のほか、地域イベントの企画なども行なっている。



- ①フリーペーパー「Hajikko」には南部地区の魅力が満載！
- ②取材で出会った作家さんの手作りの品がズラ〜リ！コーヒーやお茶などのドリンクメニューもご用意しています！
- ③アパレル業界の雰囲気を出し出す清潔でオシャレな事務所兼店舗

HPでもテイクアウトグルメやイベント情報を発信中！ぜひ覗いてみてください！



Information



スロウ SLOW
〒850-0992 長崎市江川町194-1
☎ 080-1532-4066
HP <https://hajikko.jp/>

